

## 発 刊 に 寄 せ て

平成7年8月1日の開所以来、総合教育センターは、「学習と教育の中核的存在として、新しい時代の人づくりを目指す」という理念の具現を図るため、「拓く」「究める」「創る」「支える」四つのキーワードを踏まえ、学校組織、教職員を支援してきました。

現代社会は、新しい知識・情報・技術が重要性を増す「知識基盤社会」です。同時に、少子化、超高齢化を伴う「人口減少社会」、政治・経済・文化などのグローバル化に伴う「多文化共生社会」でもあります。こうした構造的な社会変化の中では、ますます「生きる力」を育む教育理念が重要となります。このことを踏まえて、国では新しい学習指導要領の改訂が行われ、また県では「人づくり2010プラン」の後継となる「静岡県教育振興基本計画」の策定に向けた取組などが進められています。

今年度は、県教育委員会事務局の組織再編が行われ、本センターは従来からの「研究・研修」とともに、幼・小・中・高・特別支援学校の学校訪問等を含む指導も行うことになりました。特に、本センターの組織再編においては、研究を研修・指導（訪問）に生かすこと、指導の系統性・連続性を重視すること、これら2点を基本的な考え方に据え、学校を支援できるよう、体制づくりを進めてまいりました。

教育においては、実践的研究（学び）を積み、それを教育活動に還元し、その反省の中で得た課題を次の研究に生かし・・・というサイクルが大切だと考えています。今年度、研究においては時間的余裕がない中での取組でしたが、センターの理念を具現化したものの一つである「研究紀要」としてまとめたいたいと思い、取り組んでまいりました。

また、今年度から、研究のほかに事業報告等を掲載することにしました。本センターの取組内容をより広く学校の皆様にお伝えすることにより、御理解を得つつ、学校からの御要望にもおこたえできるものと考えました。

皆様の厳しい御意見が、次の取組へのエネルギーにもなります。是非御一読の上、忌憚のない御意見・御感想をお寄せいただければ幸いです。

平成22年3月

静岡県総合教育センター  
所 長 山 本 健 二